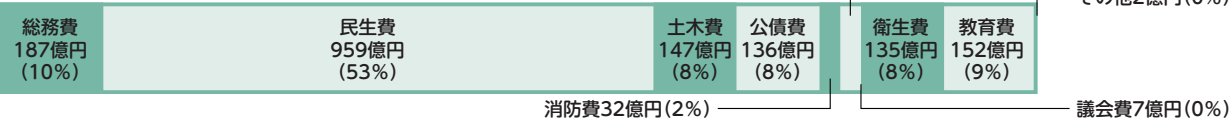


■令和4年度歳入歳出決算総括表

会計別		区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
一 般 会 計			187,995,583,628	179,528,227,075	8,467,356,553	945,638,920	7,521,717,633
特別会計	土地区画整理事業		11,113,209	9,330,160	1,783,049	0	1,783,049
	国民健康保険事業		36,758,777,448	36,662,785,272	95,992,176	0	95,992,176
	市街地再開発事業		352,149,999	351,962,528	187,471	0	187,471
	介護保険事業		28,965,618,379	28,004,665,313	960,953,066	0	960,953,066
	後期高齢者医療		3,717,149,637	3,692,273,381	24,876,256	0	24,876,256
	病院事業債管理		272,088,066	272,088,066	0	0	0
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業		117,864,960	65,411,299	52,453,661	0	52,453,661
	小 計		70,194,761,698	69,058,516,019	1,136,245,679	0	1,136,245,679
合 計		258,190,345,326	248,586,743,094	9,603,602,232	945,638,920	8,657,963,312	

■一般会計 歳出 (1,795億円)



■財産の状況 (令和4年度末現在高)

土地	行政財産	2,812,856㎡
	普通財産	321,234㎡
建物	行政財産	1,147,362㎡
	普通財産	17,587㎡
有価証券・出資金等	有価証券	657,104千円
	出資金	7,167,559千円
	債権	14,779,532千円
基金	財政調整基金	6,498,590千円
	その他基金	19,291,109千円

■市債の状況

会計別	令和4年度末現在高
一般会計	129,370,012
市街地再開発事業特別会計	3,342,566
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	461,497
合計	133,174,075

令和4年度一般会計及び特別会計の決算についてお知らせします。
決算は、一般会計年度間(令和4年4月1日～令和5年3月31日)に予算の範囲内で行政サービスを行った結果を表しています。
一般会計歳出の約5割は民生費が占めています。児童・高齢者・障がいのある人などの支援や生活保護など、社会福祉の充実を図るための経費です。
この決算は、那覇市議会9月定例会の認定に付されます。

問 財政課 ☎862-9938

令和4年度 那覇市の財政状況



市民1人あたりの行政経費	56万8,957円
市民1人あたりの市税負担額	17万3,863円

令和4年度に各分野で支出した金額を、市民1人あたりに換算すると…

総務費	民生費	土木費	公債費	消防費	商工費	議会費	衛生費	教育費	その他
 5万9,337円 戸籍や住民票の交付、選挙の実施など。	 30万3,892円 児童・高齢者・障がい者の支援や生活保護など。	 4万6,487円 道路・公園・市営住宅・下水道・港湾施設の整備など。	 4万3,035円 国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金。	 1万21円 消防関連の整備や、火災・風水害・地震などの災害対策など。	 1万2,126円 公設市場の整備や観光関連、商工業の振興など。	 2,372円 議員の報酬や議会運営など。	 4万2,741円 ごみ収集や予防接種、健康診査、公衆衛生など。	 4万8,230円 こども園・小中学校・公民館・図書館の維持管理など。	 716円 農林水産業費、災害復旧費、諸支出金、予備費など。

那覇市通水90周年のお知らせ

那覇市の水道は、1933年(昭和8年)に給水を開始して今年で通水90周年を迎えます。本市の水道は創設期、復興期、拡張期を経て、現在は維持管理(更新・耐震化)事業を推進しています。これからも市民のみなさまに安全・安心な水道水を供給することに努めてまいります。

創設期

1933～1945

那覇市は昔から飲料水に乏しく、雨水や井戸水、湧き水に頼っていました。その後、宜野湾村(現宜野湾市)に水源が見つかり、1933年9月に那覇市で給水が開始されました。

波の上一帯配水管埋設工事

通水式で開栓する照屋宏第5代那覇市長(1933年)

復興期

1946～1959

戦後の深刻な水事情に対処するため、1949年に市内一部で簡易水道を布設し、その後、米国政府による泊浄水場等の返還がなされ、1954年から本格的に水道事業が再開しました。

開南中央通り簡易水道配管工事

米国政府から返還された泊浄水場(1954年)

拡張期

1960～2012

1963年に泊浄水場の拡張がなされ、1972年の本土復帰を機に、5次にわたる拡張事業を推進し施設の拡充整備を行い、2002年7月に泊配水池が完成しました。

拡張した泊浄水場記念除幕式(1963年)

泊配水池落成式(2003年)

維持管理期

2004～

2004年5月に新都心地区の配水管布設工事了により、本市の施設整備はほぼ完了し、現在は復帰前後に布設した管路の更新事業や基幹管路などの耐震化事業を推進しています。

水道管の更新時には「伸縮性」・「屈曲性」・「離脱防止機能」を備えた耐震管へと布設替えを行っています。

このたび、通水90周年を記念して、本市水道のこれまでの歩みとこれからの取組みなどを掲載した通水90周年記念誌「那覇の水道」を作成しました。

詳しくは、那覇市上下水道局HPをご覧ください。

問 上下水道局企画経営課 ☎ 941-7802

1回の採血で『がんリスク』を評価

わずか6mlの採血だけで、男性6部位・女性9部位の現在がんである危険度を部位ごとにA～Dで同時に判定する検査です。大腸がC判定で医療機関で精密検査したところステージ0の大腸がんが見つかった受検者も。全国ですでに5万人以上の方が受検。短時間で心、採血のみで体、低価格で費用の「3つの負担」を軽くし、1人でも多くの方ががん早期発見・早期治療のきっかけになることを目指しています。検査は税込み16,500円、完全予約制です。
※保険適用外

【部位別に同時判別】

男性 6部位	大腸、胃、肺、すい臓、 肝臓、前立腺
女性 9部位	大腸、胃、肺、すい臓、 肝臓、乳、子宮頸、 子宮体、卵巣

※血液中の亜鉛など17種の微量元素濃度を測定し、濃度のバランスの違いを統計学的手法で解析することで、現在がんであるリスク(可能性)をスクリーニング(ふるい分け)評価し、自覚症状が出る前や初期段階でのがんの発見を目的とする新しい検査方法です。 ※この検査は、採血時点でのがんのリスクを評価するものであり、がんであるか否かははっきり判断(確定診断)するものではありません。

経済産業省のGo-Tech事業(成長型中小企業等研究開発支援事業)採択によりメタロ・バランス検査を認知症と血液がんの検査に応用する研究が、レナテックと大阪精神医療センター・大阪国際がんセンターで、2年後の実用化に向けて共同研究がスタートいたしました。

完全予約制 検査実施医療機関と日程

※医療機関への直接のお申込み・ご質問はできませんのでご注意ください。

うみかじ 海風クリニック 中頭郡中城村字南上原1005-2	10/15日	11/19日	12/17日
のはら元氣クリニック 那覇市銘苅3-21-21	9/24日	10/22日	11/26日
ふくはら胃腸科・外科 沖縄市美里仲原26-5	10/8日	11/12日	12/10日

検査時間:午前のみ(各会場時間はWEBでご確認ください)※所要時間1人10分程度

お申込みはこちらから

メタロバランス

検索

●上記以降の検査日はWEBサイトにて随時掲載いたします。



https://metabo-balance.net/

お問合わせ

0120-785-602

株式会社レナテック 神奈川県伊勢原市高森4-19-15 ☎0463-74-6129